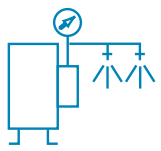
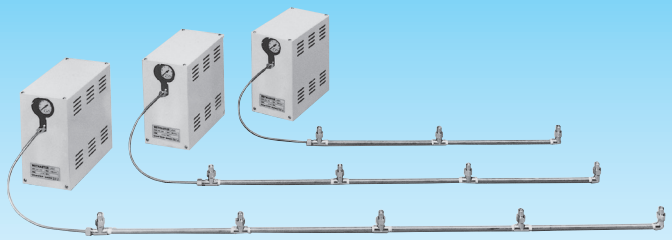
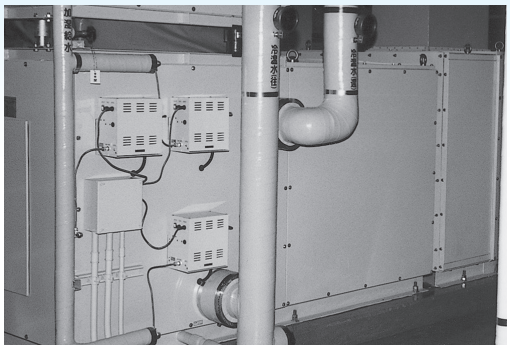


高圧スプレー式加湿器
SVKタイプ
【機器組込】空調機組込用

SVKタイプは、加湿器本体を空調機側板などに、またヘッダセット（噴霧ノズル）を空調機内に組み込んで使用する高圧スプレー式加湿器です。
ポンプで加圧した水をセラミック製ノズルの小孔から噴霧し、噴霧された水の粒子は気流との熱交換により蒸発して加湿を行うもので、イニシャルコストが低く大容量の加湿を必要とする場合に適しています。また、圧力スイッチにより無給水（断水）時の空運転を防止します。



WM-SVKタイプ



- 当社創業以来のロングセラー、イニシャルコストが低く大容量の加湿を必要とする場合に適しています。
- 噴霧量25～125kg/hの5型番を用意しています。
- 噴霧ノズルのチップはセラミック製で耐摩耗性に優れています。
- 小型でシンプル、耐久性の高いベーンポンプを使用しています。
- 空運転防止用の圧力スイッチ付です。

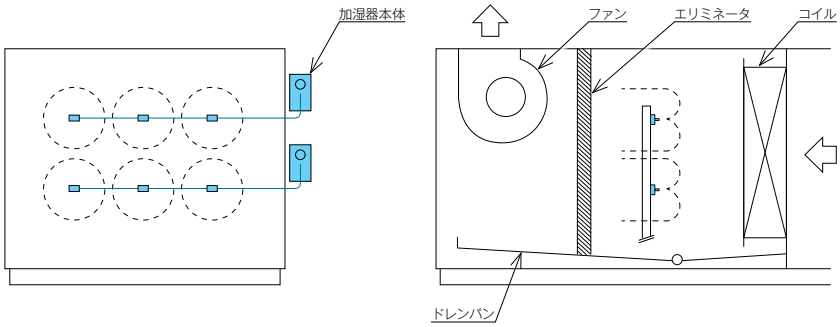
※ WM-SVNタイプは生産を終了いたしました。

仕様

機種・型式		高圧スプレー式加湿器 SVK （空調機組込用）				
型番		WM-SVK25	WM-SVK50	WM-SVK75	WM-SVK100	WM-SVK125
噴霧量（kg/h）		25	50	75	100	125
有効加湿量（kg/h）		10～12	20～25	30～35	40～50	50～65
定格電源		単相 AC200V 50/60Hz				
定格消費電力		92/105W			130/155W	
運転圧力		0.3～0.4MPa				
運転時質量		5.2kg			6.4kg	
安全保護装置		●モータ巻線内に焼損防止用サーモプロテクタ（自動復帰型）内蔵 ●回路保護のためのヒューズ ●給水停止時（断水時）にポンプを自動停止させる圧力スイッチ				
使用条件	周囲温湿度	●加湿器本体 1～40℃ 90%RH以下 ●ヘッダセット：1～55℃				
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水				
	給水圧力、温度	●SVK25・50・75：0.035～0.5MPa、5～40℃ ●SVK100・125 ：0.035～0.4MPa、5～40℃				

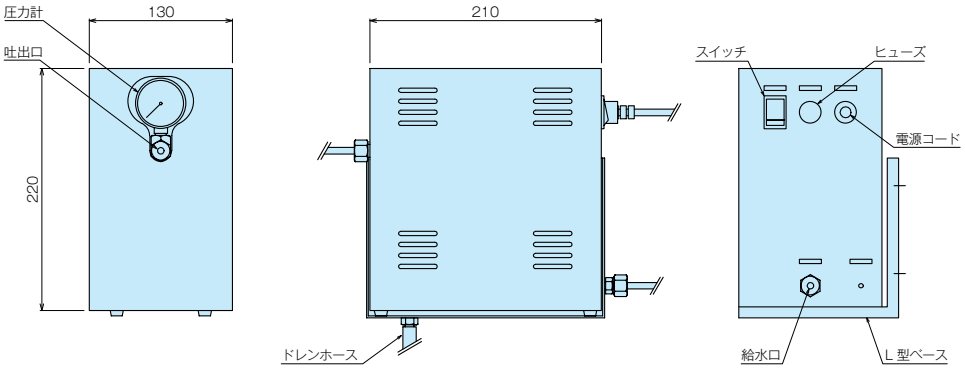
組込例

エアハンドリングユニットに組込

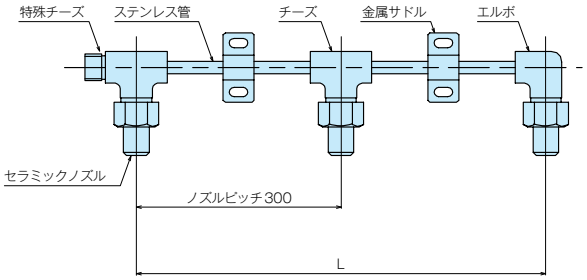


外形図

【加湿器本体】



【ヘッダセット(標準品)】



加湿器型番	ノズル数	L
WM-SVK25	3	600
WM-SVK50	4	900
WM-SVK75	5	1200
WM-SVK100	6	1500
WM-SVK125	8	900×2本

※SVK125のみ、ヘッダセットが2本(分岐用継手、軟銅管付属)となります。
※ノズルピッチなどの変更の場合はお問い合わせください。

選定・ご使用にあたって

選定上のご注意など

- 有効加湿量は、標準暖房条件で運転されるエアハンドリングユニットにおいて、全噴霧量の内、実際に流通空気に付加される加湿量のめやすをいいます。
- 超音波式に比べて噴霧粒子は粗くなります。ヘッダセット下流側への エリミネータ設置など、水滴による障害のないようご配慮ください。
- 流通空気の温度が低い空調機には組み込めない場合がありますのでご注意ください。
- 外気処理空調機で加湿する場合や冷房・冷風運転で加湿する場合には、気化式加湿器または蒸気式加湿器をご検討ください。
- 加湿器本体とヘッダを接続する吐出軟銅管はヘッダ方向へ先下がりとなる勾配としてください。
- ヘッダセットの取付位置には点検口を設けるなど、後々の保守作業が行えるようご配慮ください。
- 加湿器と公共の水道管は直結できません。このような場合はシスターン(型式認可品)をご使用ください。
- 各加湿器ごとに漏電ブレーカおよび給水サービス弁、フラッシング用バルブを設けてください。
- 配管の保温処理を行ってください。
- 通気、設置場所に腐食性ガスが予想される場合、使用できないことがありますので、事前にご相談ください。
- 空気清浄度を管理されている室内、施設を対象に加湿器をご使用になる場合は、加湿器を組み込んだ空調系統の加湿器二次側に、要求清浄度を満足できる能力を有する最終フィルタを設置してください。

保守点検

- 通常の保守は、給水ストレーナ、ノズル掃除およびポンプ分解整備などです。
- ポンプ内のベーンおよびシャフトシールは、運転圧力の低下や摩耗状態により交換が必要となります。

梱包内容

- 加湿器本体(電源コード付) …… 1台
- 本体取付用L型ベース …… 1個
- ヘッダセット …… 1組
- 給水軟銅管(0.4m) …… 1本
- 給水ストレーナ(R1/2) …… 1個
- 吐出軟銅管(1m) …… 1本
- ドレンホース …… 1本
- 取扱説明書類 …… 一式